

## 高松市MICE振興戦略（仮称）の構成

### 第1章 「高松市MICE振興戦略（仮称）」 策定の意義

- 1 MICE（マイス）とは
- 2 本市におけるMICEの意義
- 3 MICEの市場動向
- 4 本市のMICEの現状と課題

### 第2章 基本戦略

- 1 本市の目標とするMICE
- 2 本市のMICE目標指標
  - ・コンベンション数：306件（H35）
  - ・国際会議件数：10件（H35）

### 第3章 「高松市MICE振興戦略（仮称）」の重点施策

- 1 受入環境の整備
- 2 誘致強化
- 3 MICE振興のための産官学連携
- 4 MICEの創出

### 第4章 戦略の推進

[資料編] MICE関係施設一覧等

【計画期間】 H29年度～H35年度

#### Meeting

企業や団体のミーティング等。  
例) 海外投資家向けの金融セミナー、  
グループ企業の役員会議 等

#### Convention

国際団体、学会、協会が主催する総会、  
学術会議等。  
例) 世界水フォーラム、各種学会 等

M I

C E

#### Incentive

企業が従業員やその代理店等の表彰や  
研修等の目的で実施。起業報奨、研修  
旅行とも呼ばれる。

#### Exhibition/Event

文化・スポーツイベント、展示会・見  
本市。  
例) 東京国際映画祭、世界陸上、  
東京モーターショー 等

おいで **MICE** 瀬戸の都・高松

# 基本戦略

## 基本戦略

○既存のMICE誘致を強化するとともに、地域特性をいかしたMICEの創出を目指す。

○県のMICE事業と連携  
「香川県MICE誘致推進方策」、**香川県MICE誘致推進協議会**

## 目標とするMICE

○ターゲット：国際会議・学会等のコンベンション

○分野：①高松ならではのMICEコンテンツを活用  
②香川大学等の研究分野と連携

○規模：500人～2,000人規模に重点  
※**新県立体育館のサンポート高松への建設決定**により、  
5,000人を超える規模のMICEもターゲットに見据える

○高松らしいMICEの創出  
①開催効果を最大化  
②**シーフロント**のMICE施設の集積を活用、都市機能の連携  
⇒「高松Tゾーン」を重視  
③本市のシンボル「屋島」の活用

## 計画期間

平成29年度～平成35年度  
※「第6次高松市総合計画」の終期まで

# 課題と重点施策

## 課題

### ○ポテンシャルの活用

- ・施設間の連携強化
- ・高松ならではの資源の活用  
(瀬戸内海の多島美、屋島、玉藻公園、  
商店街、高松盆栽など)

### ○プロモーション強化

- ・MICE向け情報発信の強化
- ・高松ならではのMICEブランドの確立

### ○組織的対応

- ・誘致体制の強化
- ・県、施設関係者、大学、地域等との連携

### ○産業活性化

- ・観光の延長ではないMICEの取組
- ・「ビジネス・イノベーションの機会」とする取組

## 重点施策

### 1 受入環境の整備

#### 【主な取組例】

- 既存MICE施設連携・インフラの整備
- ワンストップ窓口の設置
- アフターコンベンション・ユニークベニューの開発
- 本市のシンボル「屋島」の活用

### 2 誘致強化

#### 【主な取組例】

- 誘致推進体制の強化(効果的な連携)
- 高松観光コンベンション・ビューローの体制強化
- マーケティングの強化(情報収集)
- 誘致ツールの整備
- 開催支援補助金制度の見直し

### 3 MICE振興のための産官学連携

#### 【主な取組例】

- 香川県MICE誘致推進協議会との連携
- 大学とMICE誘致協力に関する連携の検討

### 4 MICEの創出

#### 【主な取組例】

- 将来のMICEを主催できる人材の発掘
- 関連事業や周辺イベントの実施
- 機運の醸成

# 素案からの主な変更

## ○全般

### 1 懇談会、調査会、パブリックコメント等における意見の反映

11月30日 第3回高松市M I C E振興戦略策定懇談会  
12月15日 総務消防調査会  
12月21日～1月20日 パブリックコメント（4件／2名）

### 2 素案作成後の状況変化に合わせた修正

- ① 「ウォーターフロント」⇒「シーフロント」  
【理由】都市計画マスタープランの改定において、「シーフロント」ゾーンと設定することとしており、整合性を確保する。
- ② 「新県立体育館」関係  
【理由】サンポート高松での建設が決定（11月県議会答弁）。  
5,000人を超える規模。  
既存施設との連携により、さらに大規模なM I C Eにも取り組む。
- ③ 「香川県M I C E誘致推進協議会」関係  
【理由】H28.11.25に設立。政府系国際会議、大規模M I C E等において連携。  
施設間連携、情報発信の強化（多言語対応等）。

## 素案への主な意見と変更点

### ○第1章 「高松市M I C E振興戦略（仮称）」策定の意義

	意見	提案者	対応
1	シンガポールなどのアジア諸国に対抗するために、グローバルM I C E都市が指定されているなど、国レベルの取組が行われている。 今後、高松のM I C Eを振興させるためには、こうした都市との連携を深めていかなければならない。	調査会	<b>【追記】</b> 国の方向性との連動や広域的な視点、シーフロントの関係施設の連携などの受入環境整備の必要性を加筆。 ○グローバルM I C E都市、県等との連携 ○関係施設、交通アクセスなどの受入環境の整備 <b>【P.2】</b>
2	(海外視察を踏まえての意見として) バンクーバーやモントレーは、ウォーターフロント開発で成功している。高松でも、ウォーターフロントには、新県立体育館や市場の整備が予定されており、今後の開発に期待している。	調査会	
3	地域資源としての屋島、栗林公園、五色台やその他の観光地はどうなるのか。	パブコメ	<b>【追記】</b> 屋島や栗林公園を始め、シーフロントには玉藻公園や離島などの資源があり、アフターコンベンションやユニークベニューで活用を図る。 ユニークベニューの説明を追加するとともに、巻末資料にユニークベニュー等の一覧を掲載。 <b>【P.11、P.12、P.50】</b>
4	ユニークベニューとは何か。	調査会	



# 素案への主な意見と変更点

## ○第2章 基本戦略

	意見	提案者	対応
8	国際会議が開催されることを楽しみにしている。また、アジア会議が開催されることに期待している。	パブコメ	<b>【記載済】</b> アジア各国との航空路線を活用しながら、国際会議や学会等のコンベンションをターゲットに取り組んでいく。【P.17】
9	ターゲットとなるMICEの規模として、500～2,000人が示されているが、それより少ないものは、コンベンション実績としてカウントしないのか。	調査会	<b>【記載済】</b> 目標指標の「コンベンション数」は、小規模なMICEも集計しています。【P.20】
10	2015年の日本政府観光局（JNTO）の国際会議統計の公表（H28.12）。	—	<b>【修正】</b> 国際会議開催件数 <u>6</u> 件 ⇒ <u>5</u> 件 日本政府観光局の国際会議統計で公表された数値に修正。【P.20】

## ○第3章 「高松市MICE振興戦略（仮称）」の重点施策

11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンベンションであれば、サンメッセは。MICE誘致にはぴったりではないか。</li> <li>・交通シミュレーションはできているのか。本当に公共交通機関をMICE参加者は利用するのか。</li> <li>・MICEの主役である人達（主催者、参加者など）の一連の動きのシミュレーションはできているのか。</li> </ul>	パブコメ	<b>【記載済】</b> サンメッセ香川もMICE施設として掲載しています。 MICE施設間の交通アクセスを向上させることで、参加者の利便性を確保することは重要な視点であり、戦略の推進に当たっては、交通シミュレーションなど交通手段の検討にも取り組んでいく。【P.23、P.49】
----	---	------	---

# 素案への主な意見と変更点

## ○第3章 「高松市MICE振興戦略（仮称）」の重点施策

	意見	提案者	対応
12	将来的には、東京から大阪までリニアで繋がることで一つのゾーンが形成され、そこに繋がる高速鉄道網の整備が必要である。	調査会	<b>【追記】</b> MICE開催都市への交通アクセスは、主催者が開催地を決定する際の重要な要素のひとつであり、本市への交通アクセス（四国の新幹線など）を始めとした受入環境の整備に取り組んでいくことを追記。【P.23】
13	屋島をユニークベニューとして使っていくというアイデアと思う。 コンベンションエリアとの間の交通をしっかりと、これらの連携を図っていくことが大事。	懇談会 委員	<b>【追記】</b> 交通アクセシビリティの向上は記載済。 また、屋島の魅力を向上させる取組として、ジオパーク認定に向けた検討等を追記。【P.30】

## ○第4章 戦略の推進

	意見	提案者	対応
14	戦略は方向性を示したもののなので、実施に当たっては優先順位をつけて進めていくといった内容を記載してはどうか。	懇談会 委員	<b>【修正】</b> 戦略 <u>スケジュール</u> ⇒ 戦略の <u>推進</u>
15	進行管理を明確化して事業を促進し、市民に分かり易く報告することも忘れずをお願いしたい。	パブコメ	章のタイトルを修正し、戦略の推進についての記載箇所であることを明確化。 実施に当たっては優先順位をつけて取り組み、その進行管理は「まちづくり戦略計画」や行政評価により公表することを追記。【P.46】